

その他 冷蔵庫やエアコンのフロンガスを回収忘れず!
水に浸かった車はばっくつたいにエンジンかけない(発火やエンジン全壊する恐れあり)

重要!! 1. 30リットル以上の泥はバケツだらけ!

家具 など 電化製品類、家具類などは分別に出す

側溝 1. ベルトやゴミを落とす
2. 排水口をばっくつたいに
3. 水を流すときは水を流して、ゴミを落とす

泥 水によって汚染がひどい泥は、**取っ払いが勝負!!** 国産土作業がメイン

土カベ 1. 土カベは、土を落とす
2. 土カベは、土を落とす

床 土カベは、土を落とす
土カベは、土を落とす

1. 泥出し 道具に水をつけながらバッチリと泥を落とす

2. 洗浄 高圧洗浄機、高圧洗浄機、高圧洗浄機

3. 消毒・乾燥 窓をしっかりと消毒、乾燥、乾燥

この光で **見せ**

帽子 or **ヘルメット**

ゴーグル (コンタクト着用) は必須!!

防塵マスク 立体型がオススメ

長袖 あつても

長ズボン

作業靴 厚手・長めのゴム手袋 軍手はNG (中にはめまから汗を吸い取る)

水筒 目ヤミの洗える水がベスト!!

タオル

名札 身分を明示

雨具 (折り畳み) 梅雨(台風・大雨) 必須品

長靴 長靴は必須!!

廃棄するものでも、家族にとっては大切な思い出のつまった物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

提供：特定非営利活動法人レスキューストックヤード

道具用途一覧

- 鍬スコップ** 固い土・堆積した泥
- 角スコップ** 床下の泥出し 道路や側溝などの平坦箇所
- 十指** 壁の下・側溝
- ミニスコップ (コチ)** 家の中の細かい泥
- じょれん・どうくわ** 側溝
- バケツ** ぞうきん・タオル洗い ※取っ手が壊れるので入れすぎ注意 壊れにくい丈夫なものが多い
- 一輪車** 荷物・泥の運搬 水を入れるなど ※深いタイヤがオススメ
- 土のう袋** 泥・細かいがれき・廃棄物を入れる ※重さが高くなるので6~7割以上は入れない 水は時間がかたば抜けるので気にしない 平に積み重ねると崩れにくく、キレイに泥が流れ出さないようしっかりと口を結び
- パール (大・小)** 土壁落とし・家具の解体 床板はがし・側溝の蓋開け テコがわり
- かけや** 土壁落とし
- のこぎり** 流木などの切断 フローリングの床板はがし ※型枠用が楕円用が便利
- デッキブラシ・たわし** 床板・道路・壁掃除
- 水切り** ※雑巾より便利
- モップ** 水切り・拭き掃除
- 土のう袋きしほりコツ** ① 2年20cmで... ② 土のう袋は、土を詰める... ③ 土のう袋は、土を詰める...

- ほうき** 掃き掃除 ※室内用と屋外用と分けて使う
- 雑巾・タオル** 拭き掃除 ※普通タイプがなにかと便利。大きいとカエって不便
- スポンジ・歯ブラシ** 細かいところの掃除
- ちりとり** 水切りがわり 狭いところの泥だし ※割れにくい金属製がオススメ

あると便利な道具たち

- 左官用フネ** 機材・長靴の洗浄 ※資材担当で活躍
- 高圧洗浄機** 高いところの洗浄 道具の掃除 ※レンタルあり
- チェーンソー** 流木・倒壊家屋の処理 ※使い慣れている人のみ
- ブルーシート** 家財などの下に敷く 資材の保管・屋根補修
- パワーショベル** 荷物運搬・がれき撤去 泥だしなど ※レンタルあり・免許必須。バケットサイズ0.1立米が手ごろ
- フレコン (トン缶)** 大量の泥 ※重機での回収が必要
- 軽トラック** 人・物の運搬 ※小回りが利いて狭い道でもOK レンタルあり

安全と衛生 無理せず、ケガなく

粉塵 まれに短時間で病気を起こす恐れあり。 → 粉塵用のマスクやタオルでカバー 熱中症 大量の汗や通気性の悪い服での作業・睡眠不足・お酒の飲み過ぎに注意! → 水分・塩分 (水だけじゃダメ)・休憩

破損 深い刺し傷に注意! → ケガをしないように長袖・手袋・長靴・安全靴を装着する 活動量はうがい・手あらい! 目に泥がよく入るので真水があると便利。

提供：特定非営利活動法人レスキューストックヤード



提供：みえ災害ボランティアセンター

ケガの応急手当

すり傷・切り傷（出血の少ないもの）

- (1)傷口が汚れていたら、水道水などの出来るだけきれいな水で洗い流します。
- (2)滅菌ガーゼなど清潔な布を傷口に当て、その上から包帯やタオルなどでしばります。

刺し傷

- (1)傷口の周囲を押し、血を絞り出してから、滅菌ガーゼなど清潔な布をあて包帯をします。
- (2)ガラスの破片などが奥深く刺さっている場合は、血管などを傷つける恐れがあります。抜かずにそのまま固定して、医師の下へ搬送します。

出血がひどい

傷口をガーゼやハンカチなどで直接強く押さえて、しばらく圧迫します。この方法が最も基本的で確実な方法です。
※血液からの感染防止のために、ビニール袋やビニール手袋などを使用しましょう。

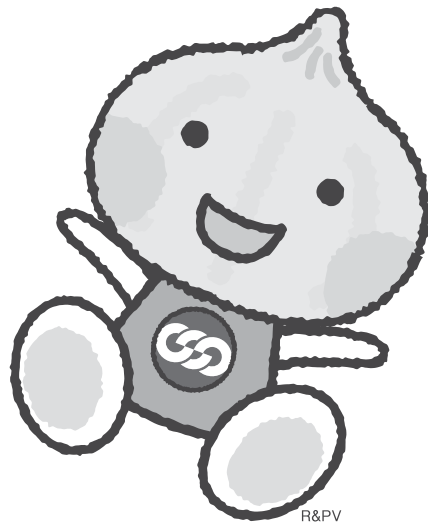
骨折

- (1)とにかく動かさず、外傷があれば手当の後に固定を施します。
- (2)衣類や靴は脱がすか切り開きます。
- (3)上下の関節をこえてまたがるように「副木（そえぎ）」をあてます（骨折部位にあててのではありません）。
体と副木（そえぎ）の間に、タオルなどのあて物をして隙間をなくします。患部を低くしないようにして、安静を保ちます。

提供：みえ災害ボランティア支援センター

発行日 2015年10月23日

編集・発行 連合三重国民運動局



R&PV